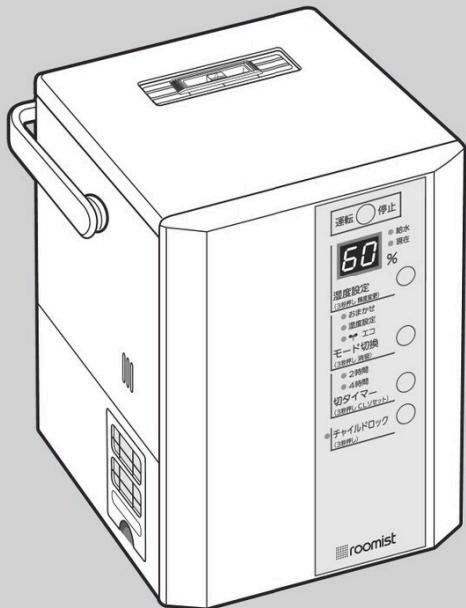


ビーバー スチームファン式 加湿器

取扱説明書

形式 SHE35VD



- このたびはビーバースチームファン式加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただきため、この取扱説明書を必ずお読みください。その後は大切に保管してください。
万一ご使用中にわからない時や、異常が生じた時に、きっとお役にたちます。

三菱重工冷熱株式会社



保証書付

（保証書はこの取扱説明書の裏表紙につけていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。）

もくじ

| | |
|----------------|-----|
| • 安全上のご注意 | 1・2 |
| • ご使用にあたってのお願い | 3・4 |
| • 各部のなまえとはたらき | 5・6 |
| ・イオンフィルター | 7 |

使う前

| | |
|---------------|---|
| • 準 備 | 7 |
| ・タンクに水を入れる | 7 |
| ・蒸発布に充分水を含ませる | 7 |

準備

| | |
|-------------------|----|
| • 正しい使いかた | 8 |
| ・運転開始 | 8 |
| ・おまかせ運転 | 8 |
| ・湿度設定運転 | 9 |
| ・♪エコ運転 | 9 |
| ・切タイマー運転 | 9 |
| ・「CL」が表示されたら | 10 |
| ・チャイルドロック | 10 |
| ・お知らせ音(ブザー音)を消したい | 10 |
| ・表示ランプの明るさ(輝度変更) | 10 |
| ・アロマの使い方 | 11 |
| ・タンクの水がなくなると | 11 |
| ・停 止 | 11 |

正しい使いかた

| | |
|-------------|-------|
| • お手入れのしかた | 12 |
| ・お手入れを始める前に | 12 |
| ・本体のお手入れ | 12 |
| ・タンクのお手入れ | 13 |
| ・本体内部のお手入れ | 13・14 |
| ・吸気口のお手入れ | 15 |
| ・蒸発布の交換 | 15 |

お手入れのしかた

| | |
|----------------|----|
| • 保管のしかた／仕 様 | 16 |
| • 故障かな?と思ったときは | 17 |
| • 保証とアフターサービス | 18 |

こんなとき

▷ 保証書

(裏表紙)

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようにになっています。

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに、人が傷害を負ったり物的損害等の重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 本文中に使われる“図記号”的意味は次のとおりです。

| | |
|--|-------------------------|
| | 絶対に行かないでください。 |
| | 必ず指示に従い、行ってください。 |
| | 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。 |
| | 水につけたり、かけたりしないでください。 |
| | 修理技術者以外の人は行わないでください。 |
| | 蒸気吹出口にさわったりしないでください。 |

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるように必ず保管してください。

⚠ 警告

改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。



火災・感電・けがの原因となります。

マグネットプラグ、プラグ受けにピンやごみを付着させない。



プラグ受けが錆ていないか点検する。ごみや錆があるとショートして、火災・感電の原因になります。



ほこりを取る

湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

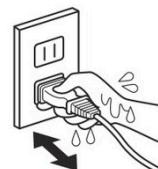
電源コードを引っ張らない、傷つけない、加工しない、束ねない、上に物を載せない。



電源コードが破損して火災・感電の原因となります。



ぬれた手で電源プラグ、マグネットプラグを抜き差ししない。



感電やけがをすることがあります。



AC100Vでコンセントや配線器具は定格内で使用する。



タコ足配線で定格を超えると火災・感電の原因になります。

蒸気吹出口、吸気口やすき間にピンや針金などを入れない。



内部に触れたり、異常動作して、感電やけがの原因になります。



蒸気吹出口をさわったり、顔を近付けない。



やけどの原因になります。
(蒸気吹出温度約55°C)

異常時(コゲくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く。



そのままにすると、火災・感電の原因になります。

! 警告

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。



本機並びに対象物の品質低下の原因になります。

禁止

マグネット式プラグを乳幼児が誤ってなめないように。



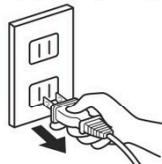
感電やけがの原因になります。

禁止

電源プラグ、マグネットプラグを抜くときは電源コードを持たず、プラグを持って抜く。



プラグを持って抜く



コードがショートや断線して、火災・感電の原因になります。

医療用途には使用しない。



本機は医療器具ではありません。使用方法によっては体調悪化や健康障害の原因になります。

禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。



本体底面や送風口から水が内部に入り、火災・感電・ショートの原因に水ぬれ禁止になります。

水ぬれ禁止

幼児の手の届く範囲では使用しない。



感電・やけどをすることがあります。

禁止

使用中や使用直後は持ち運ばない。お手入れをしない。



加熱筒・吹出口に触ると、やけどの原因になります。

禁止

排水するときは、ダクトをはずしてから排水方向に排水する。



排水方向から

手順と排水方向を誤ると、送風口から水が内部に入り、火災・感電・ショートの原因になります。

13ページ



不安定な場所や傾斜した場所には置かない。



転倒すると水がこぼれ、火災・感電・ショートの原因になります。

禁止

蒸気吹出口をふさがない。



蒸気吹出口をふさぐと変形・故障や火災の原因になります。

禁止

上部カバーやダクトをはずして使わない。



蒸気が吹出してやけどの原因になります。

使用禁止

落としたタンク・本体は使わない。



そのまま使うと破損箇所から水漏れしてショート・感電・発火の原因になります。

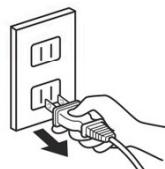
使用禁止

使わないとときは電源プラグをコンセントから抜く。



電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルなどの上に置かない。



転倒すると感電・ショートの原因になります。また本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。

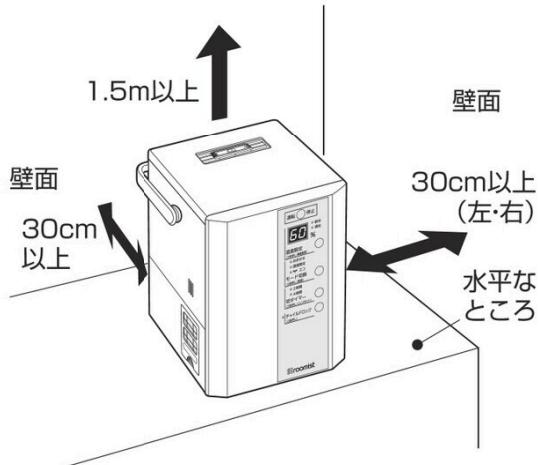
設置禁止

ご使用にあたつてのお願い

製品の破損・劣化・誤作動を防止するために、必ずお守りください。

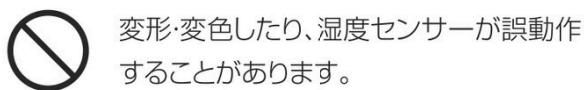
◎設置場所について

- ①必ず安定した水平なところに置いてください。
- ②蒸気による本体の誤動作・および壁・家具などの変形、シミ防止のため、図のように周囲との距離を十分にとると共に、蒸気が壁・家具・電気製品などに直接あたらないところへ置いてください。
- ③加湿器はエアコン据付側の低い位置に設置した方がお部屋の湿度を均一化することができます。

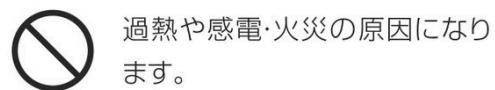


次の場所では使用しない

(1)直射日光があたる場所、暖房機の上や近く、または温風があたるところ



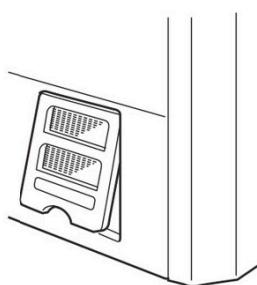
(2)サウナや浴室など、高温・高湿となるところ



お知らせ

BIOフィルターについて

BIOフィルターには酵素が纖維全体に固定化されていて、捕集した細菌・カビ・ウィルスなどの微生物を除菌します。



天然酵素を利用していますので人体には無害で安心してお使いいただけます。

BIOフィルターは水洗いしないでください。
(お手入れの方法…[15ページ](#))

乾燥ウォッチャーについて

停止中や運転停止直後に、お部屋の湿度が35%以下になると乾燥サイン「dr」表示の点滅とブザーで乾燥気味状態をお知らせします。加湿する目安としてご利用ください。3分間点滅後点灯します。(故障ではありません)



○ご使用について

水について

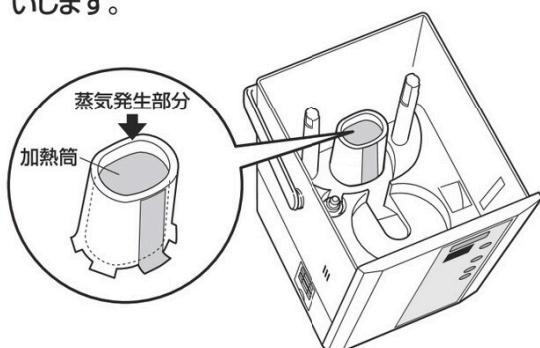
- ①必ず水道水(飲用)をご使用ください。
- ②40°C以上のお湯、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤などを入れると故障の原因になります。
- ③浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などを入れると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。



スケールについて

- ①水道水を加熱して蒸気を発生させる際に、スケール(水道水中の蒸発残留物の事で、カルシウム・マグネシウム・シリカ・鉄分等)が必ず発生します。
- ②スケールは、蒸発布および加熱筒に堆積していくことで、このスケールを定期的に除去する事により故障を防ぎ、加湿器を長持ちさせる事ができます。

※スケールは水質により多く発生する地域があります。そのため、この製品にはスケールの発生を抑制する働きのあるイオンフィルターを装着しています。(詳しくは⑦ページをご覧ください)加熱筒上面の蒸気発生部分にスケールの堆積が多い場合は早めのお手入れをお願いします。

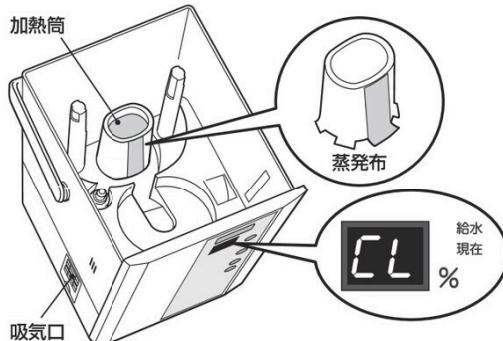


※蒸発布および水槽内の水に含まれるスケール濃度が徐々に高くなっていき「水が茶色」に変色する場合がありますが問題はありません。

※スケールの堆積が多い状態で加湿運転を行うと、加熱筒の温度が過度に上昇し、やがて加熱筒内部の安全装置が働いて停止することがあります。

お手入れのしかた

詳しくは⑫～⑯ページをご覧ください。



- ①お掃除サイン「CL」が表示されたら、蒸発布を取りはずして水で「もみ洗い」して、蒸発布に付いたスケールを洗い流してください。水道水に含まれている鉄分などの影響で蒸発布が茶色になることがあります。この色はもみ洗いで取れなくても運転に支障はありません。また加熱筒に付着しているスケールも濡れた雑巾等で拭いてください。2週間に1回程度の目安で表示されます。

(約120時間運転毎に表示します)

- ※「CL」表示は、汚れ状態を検知する機能はありませんので、お掃除の目安としてお使いください。

- ②吸気口も同時に掃除してください。

※加熱筒の表面にはフッ素コーティングが施されています。傷が付くと、加熱筒の故障の原因になりますのでご注意ください。

※お掃除の後は、切タイマーボタン(CLリセット)を3秒以上押して「CL」表示を消してください。

蒸発布の交換

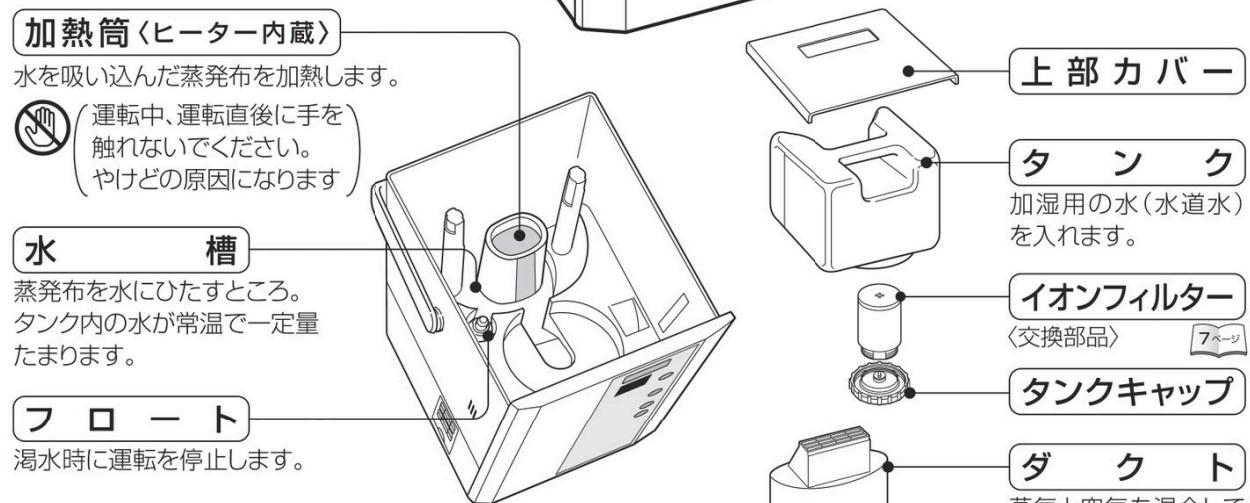
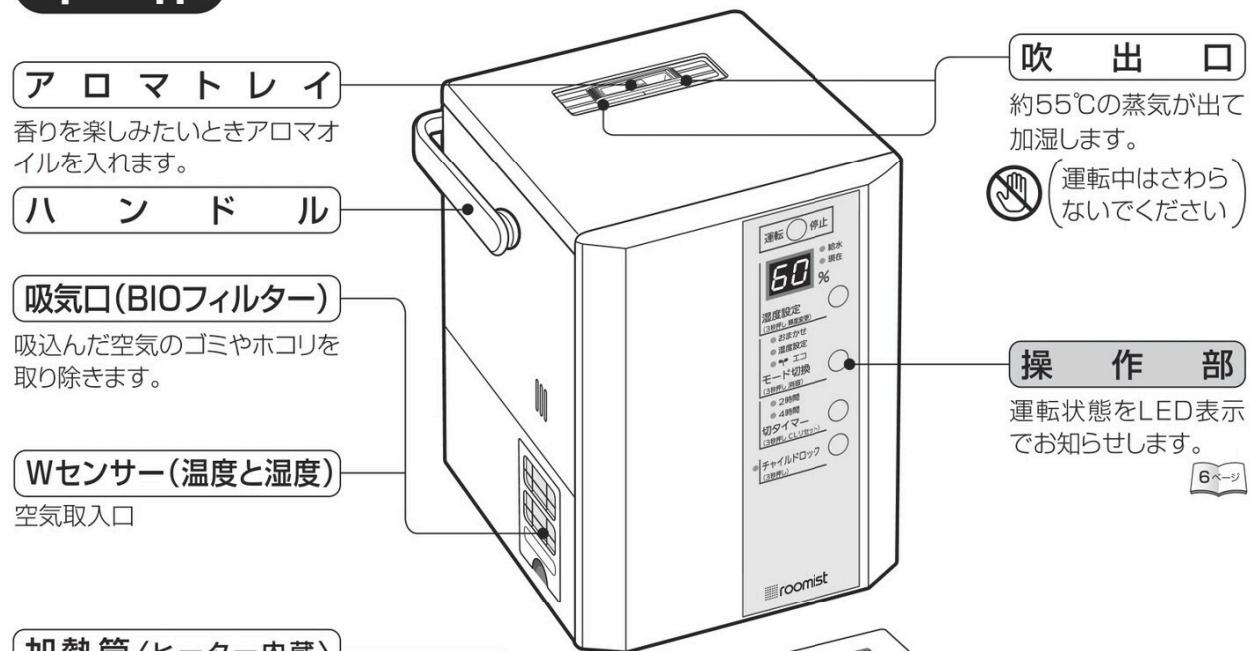
- ①蒸発布は消耗品です。水による「もみ洗い」により繰り返しご使用になれますか、やがて洗っても染み込んだスケールが取れなくなります。蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴムが伸びた場合は、蒸発布を新しいものに交換してください。

蒸発布の交換の目安は、運転時間:500～600時間です。(1日8～10時間運転した場合、2ヶ月経過したら交換)

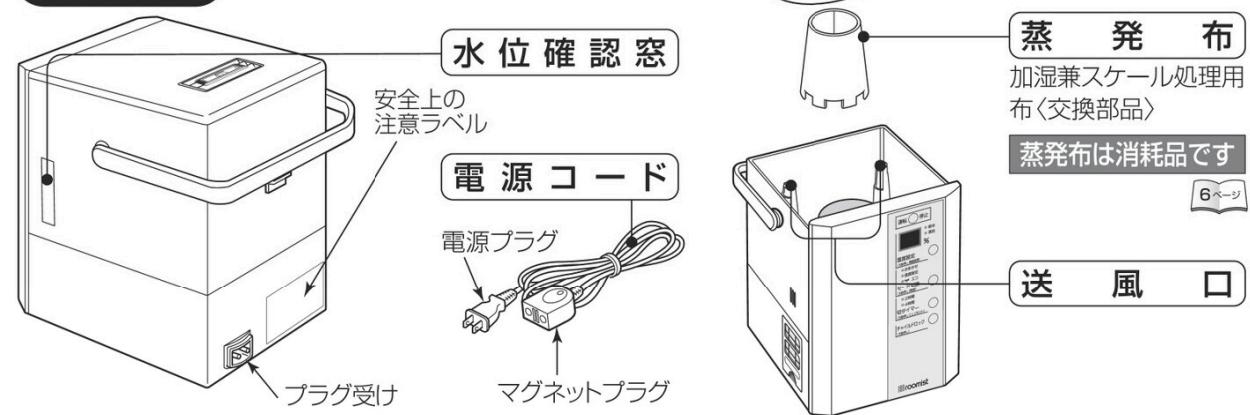
※この目安の時間は、水質の違いによるスケールの発生量により変わります。

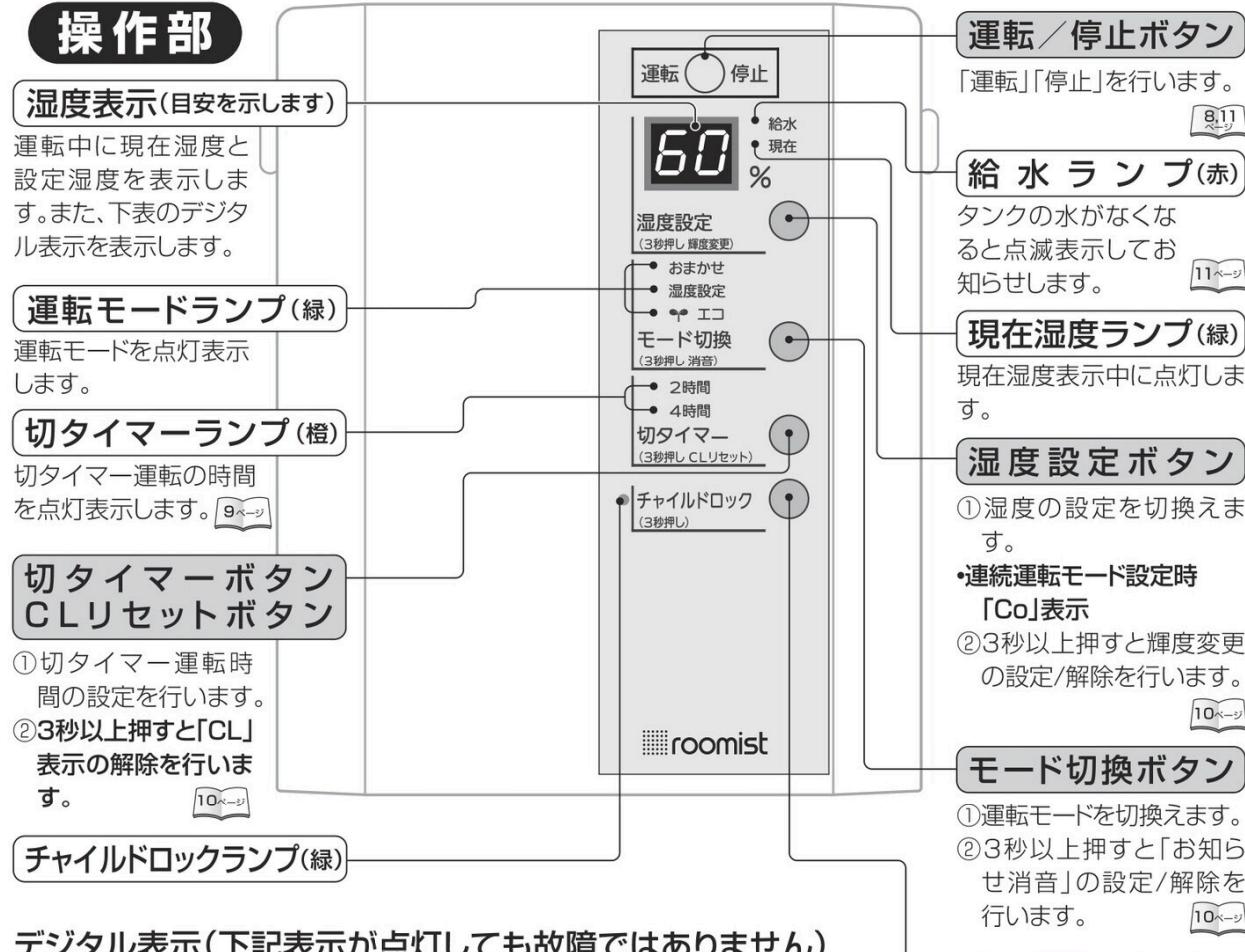
各部のなまえとはたらき

本 体



背面部





デジタル表示(下記表示が点灯しても故障ではありません)

| 表示 | 表示内容 |
|--------|-------------------------------------|
| 停止中 dr | 乾燥サイン(湿度35%以下)点滅とブザーでお知らせ [3ページ] |
| 運転中 Lo | 現在湿度30%未満のとき [8ページ] |
| Hi | 現在湿度80%を超えたとき [8ページ] |
| Co | 湿度設定「連続運転モード」設定時 [9ページ] |
| CL | お掃除時期のお知らせ [10ページ] |

蒸発布(別売品)の購入方法

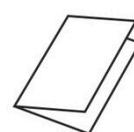
- ①お買い上げの販売店
- ②弊社のHPオンラインショップ
<https://ssl.mhihair.co.jp/shop/>



| | |
|--------|----------------------|
| 名 称 | 加湿器交換用蒸発布 SHES351 |
| 枚 数 | 2枚入 |
| 希望小売価格 | 1,210円(税込) |

付属品

包装ケース内から取り出して大切に保管してください。



取扱説明書



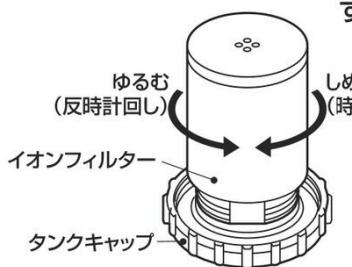
電源コード



予備の蒸発布

イオンフィルター

イオンフィルターはタンクキャップに取付けてあります。なくても運転でできますが、一定期間スケール(水に含まれるミネラル分等)の発生を抑制することができます。



・交換用イオンフィルター

| | |
|--------|---------------------|
| 名 称 | イオンフィルター SHEF35M |
| 個 数 | 2個入(個別包装) |
| 希望小売価格 | 1,650円(税込) |

※1. 約6ヵ月間、スケールの発生を抑制します。(1日8時間運転で、水道水の硬度50mg/L(全国平均)の場合)スケールの発生を抑制することができる期間は水に含まれるスケールの含有量により異なります。(但しあ買い上げ時の装備品はスケールの抑制時間が短くなる場合があります)

※2. イオンフィルター1分、タンクに入れる水が330cc程度減ります。
※3. 使用後シーズンオフ等で保管したものは再使用しないでください。交換目安は1シーズンに1回。(1日8時間使用の場合)
※4. 水槽の水が茶色に変色する場合がありますが、人体などへの影響はありませんので、ご安心してお使いください。

※5. 使用後は不燃物として廃棄してください。

①お買い上げの「販売店」にて、お買い求めください。

②宅配をご希望の場合は、オンラインショップ

<https://ssl.mhiair.co.jp/shop/>からご注文ください。



準備

①タンクに水を入れる

(1)上部カバーをはずしタンクを取り出してください。



(2)タンクキャップをはずし水道水(飲用)をゆっくり入れてください。

タンクに入る水量の目安は給水ライン近辺



(3)タンクキャップを締め、タンクを本体にセットし、上部カバーを取り付けてください。

(4)電源コードを接続してください。

プラグを持って確実に差し込んでください。

マグネットプラグの先端にピンなどの金属片やゴミを付着させないでください。



①お願い

- ①タンクキャップを確実に締め、水漏れがないことを確認してください。
- ②タンクに付いた水はきれいに布で拭き取ってください。
- ③水槽に直接水を入れないでください。

- ④40°C以上のお湯、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは入れないでください。(④ページをご覧ください)
- ⑤本体を移動するときは、タンクを取り出してから移動し、改めてタンクを取り付けてください。

②蒸発布に充分水を含ませる

タンクをセットしてから約10分間待ってください。

蒸発布に水が浸透していない状態で運転を開始すると、現在湿度表示部に「E3」が表示される場合があります。(この場合は、しばらく時間をおいてから再度運転/停止ボタンを押してください。)



正しい使いかた

① 運転開始

(1) 運転／停止ボタンを押してください。

①ボタンを押すと「ピッ」と音がして湿度表示部とおまかせランプが点灯し、あらかじめ設定されている「おまかせ運転」モードで加湿を開始します。

②デジタル表示は、設定湿度を5秒間表示した後に、お部屋の現在湿度表示に切換わります。

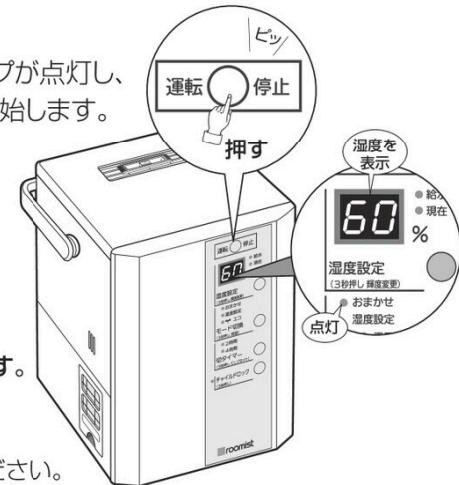
30~80%のとき1%単位でデジタル表示
30%未満のとき「Lo」表示 80%を超えたとき「Hi」表示

③約1~3分後に蒸気が出ます。

※運転開始後5分間は湿度に関係なく強制的に加湿運転を行います。

(2) 「おまかせ運転」モード以外で運転する場合は

「モード切換ボタン」にて選択します。^⑨ページをご覧ください。



お知らせ

① 湿度表示について

- 1) 現在湿度表示は本体側面にあるセンサーで測った湿度を表示します。加湿器の湿度表示は目安としてお使いください。
- 2) 使いはじめは、本体内部が冷えているため、高い湿度表示になることがあります、運転すると下がって正常になります。
- 3) 同じ部屋でも場所や高さによって湿度ムラがあるため、お手持ちの他の湿度計と差が出る場合があります。また同じ位置に置いても加湿器の湿度センサーと湿度計では、精度や応答の速さが違うため、湿度差が出る場合がありますが故障ではありません。目安としてお使いください。
- 4) 運転中は水が蒸発する音が聞こえますが異常ではありません。
- 5) 蒸発布が新しいときは、多少においがすることがありますが異常ではありません。
- 6) 部屋の温度、湿度の状態によっては蒸気が見えにくことがあります。
- 7) 設定湿度に達しても室内湿度を検知しているためファンは止まりません。

② おまかせ運転

〈自動的にお部屋の温度に応じた最適な湿度にコントロールします〉

(1) モード切換ボタンを押して「おまかせ運転」モードを選びます。

- ご購入後、初めて運転されるときは「おまかせ運転」でスタートします。
- Wセンサー(温度と湿度)が室内温度をチェックし、最適な湿度設定に自動的に切換えます。



- 設定湿度を5秒間表示した後に、お部屋の現在湿度表示に切換わります。

○ 室温と設定湿度の関係

| 設定湿度 | 室内温度 19℃以下 | 20~22℃ | 23~24℃ | 25℃以上 |
|------|---------------|--------|--------|-------|
| 50% | | | | ● |
| 55% | | | ● | |
| 60% | | ● | | |
| 65% | ● | | | |

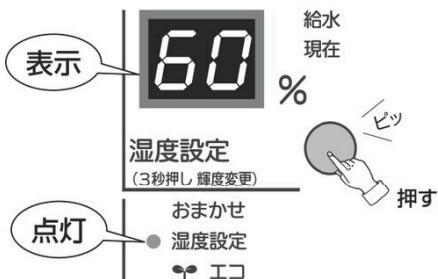
お知らせ

- ①湿度の設定は自動的に室温の変化によって切換わります。(湿度の設定変更はできません)
- ②室温が低いときは湿度が高めに設定されているため、湿度が上がりすぎて、窓などが結露する場合があります。
- ③設定湿度に達すると、蒸気の出方が少くなり止まっているように見える場合がありますが、故障ではありません。
- ④設定湿度に達しても室内湿度を検知しているためファンは止まりません。

③湿度設定運転

〈お好みの湿度に設定したいときにお使いください〉

(1) 湿度設定ボタンを押します。



- 設定湿度を5秒間表示した後に、お部屋の現在湿度表示に切換わります。

(2) 再度、湿度設定ボタンを押します。

押すたびに「ピッ、ピッピッ(55のみ)」と音がして、設定湿度が下記の順に変わります。

▶40▶45▶50▶55▶60▶65▶Co (連続)

お知らせ

湿度表示部がCoのときは湿度85%まで連続加湿しますので、窓などが結露するときは設定湿度を40~60%の範囲でご使用ください。

お知らせ

- ① 設定湿度を確認するときは、湿度設定ボタンを再度押すと設定値を約5秒間表示します。
- ② 設定された湿度に達すると、湿度を一定に保つために加湿能力を抑えた運転に切換わります。
- ③ 設定湿度に達すると、蒸気の出方が少くなり止まっているように見える場合がありますが、故障ではありません。
- ④ 設定湿度に達しても室内湿度を検知しているためファンは止まりません。

④ エコ運転

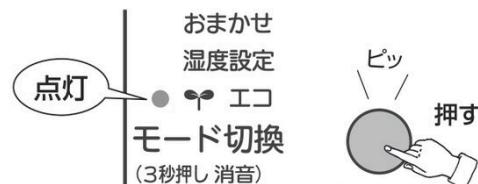
〈おやすみのときなど、静かに長時間の加湿運転をしたいときにお使いください〉

(1) モード切換ボタンを押して「エコ運転」モードを選びます。

- 設定湿度を5秒間表示した後に、お部屋の現在湿度表示に切換わります。

お知らせ

- ① 加湿能力を抑えた運転を行い、湿度の設定を50% 固定に切換えます。(湿度の設定変更はできません)
- ② 設定湿度の50%に達しても室内湿度を検知しているためファンは止まりません。



⑤ 切タイマー運転

〈自動的に運転を止めたいときにお使いください〉

(1) 切タイマーボタンを押します。

- 押すたびに「ピッ」と音がして、設定時間が右記の順に切換わります。



お知らせ

- ① タイマー設定時間が経過したら停止します。停止後、本体の温度を下げるためファンは5分間回ってから停止します。表示部はすべて消えます。
- ② 全ての表示ランプの輝度を落としてまぶしくないように運転します。⑩ページの「表示ランプの明るさ(輝度変更)」で輝度変更を設定したときと同じ明るさになります。
- ③ タンクの水量がないとタイマーが切れる前に給水ランプが点灯し運転を停止しますので、タイマー運転を行う前には水を給水しておいてください。

⑥「CL」が表示されたら

〈お掃除時期を「CL」表示でお知らせします〉

(1) お掃除してください。

- お掃除時期はご使用状態によって異なりますが、2週間に1回程度の頻度で表示されます。(現在湿度と「CL」を交互に表示すると共に、ブザー音でお知らせします)
- 「CL」表示が出たら、⑫～⑯ページの「お手入れのしかた」と「吸気口のお手入れ」に従ってお掃除してください。

(2) お掃除終了後は自動的にCLリセットしませんので、電源コードを接続した状態で切タイマーボタン(CLリセット)を3秒以上押して、「CL」表示を消してください。



お知らせ

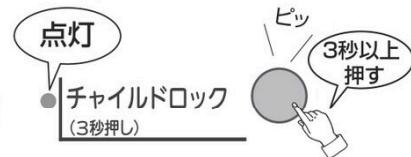
「CL」表示は、汚れ状態を検知する機能はありません。

⑦チャイルドロック

〈小さなお子様のいたずらや、運転の誤操作を防止したいときにお使いください〉

(1) チャイルドロックの設定と解除のしかた

- 「チャイルドロック」ボタンを3秒以上押すと設定ができます。
設定中は全てのボタン操作をロックします。再度「チャイルドロック」ボタンを3秒以上押すと解除ができます。



⑧お知らせ音(ブザー音)を消したい

〈お知らせ音が気になるときにお使いください〉

(1) お知らせ消音の設定と解除のしかた

- 「モード切換」ボタンを3秒以上押すと「ピッ」と音がして、設定されます。
・設定中は全てのお知らせ音を消音します。
・再度「モード切換」ボタンを3秒以上押すと「ピッピッ」と音がして、解除されます。



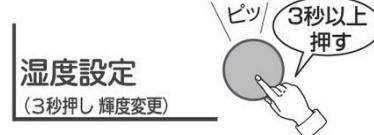
(2) お知らせ消音の設定状態を表示する機能はありません。

⑨表示ランプの明るさ(輝度変更)

〈就寝時表示ランプの明るさが気になるときにお使いください〉

(1) 輝度変更の設定と解除のしかた

- 「湿度設定」ボタンを3秒以上押すと「ピッ」と音がして、設定されます。
・設定中は全ての表示ランプの明るさを下げます。
・再度「湿度設定」ボタンを3秒以上押すと「ピッピッ」と音がして、解除されます。



(2) 輝度変更の設定状態を表示する機能はありません。

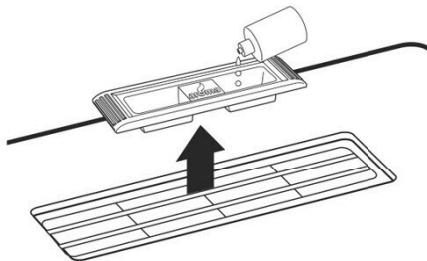
お知らせ

切タイマー運転中に輝度変更の設定はできません。切タイマーランプが点灯していないことを確認してください。運転が「停止」したときは輝度変更の設定を解除します。

⑩アロマの使い方

〈加湿しながら香りを楽しみたいときにお使いください〉

(1)吹出口からアロマトレイを外し、アロマオイルを入れる。(2~3滴)



！お願い

- ①アロマオイルのセットは必ず運転する前に行ってください。
(やけどの原因になります)
- ②アロマオイル(エッセンシャルオイル)はデパートや専門店でお求めください。
- ③エッセンシャルオイル(天然抽出物100%)以外の物は使用しないでください。
- ④アロマオイルを入れる際は必ずアロマトレイを外してから行ってください。
- ⑤オイルが本体についたらすぐに拭きとってください。
(変色する場合があります)
- ⑥気分が悪くなったら、使用を中止してください。
- ⑦香りの違うアロマオイルを使用する場合はアロマトレイを取りはずし、中性洗剤で洗い、水で十分洗い流してください。
- ⑧保管時や長期間使用されない場合はアロマトレイを取りはずし、中性洗剤で洗い、水で十分洗い流してから乾燥させてください。
(変色する場合があります)

お知らせ

アロマを使用しないときは吹出口からアロマトレイを外して加湿器を使用しても問題ありません。

⑪タンクの水がなくなると

(1)タンクの水がなくなると、自動的に加湿を停止させ給水ランプ(赤色)が点滅し、ブザーでお知らせします。「ピーピー…」と3回鳴ります)

点滅 給水 ピーピーピー…

10分後に全停止(給水ランプ以外は表示ランプ消灯)します。

(2)タンクに給水し、本体にセットしてください。

給水ランプが消灯し、給水ランプ点滅前の運転モードで運転します。

お知らせ

- ①給水ランプ点滅中は一部のボタン操作は受付けません。
- ②運転モードランプ点灯中(給水ランプ点滅後10分以内)であれば自動的に再運転します。
- ③運転モードランプが消えているときは、再度運転ボタンを押してください。

⑫停止(運転を終了したいときは)

(1)運転/停止ボタンを押してください。

すべての表示ランプが消灯し、運転を停止します。



お知らせ

- ①運転を「停止」しても本体の温度を下げるため、ファンは5分間回って停止します。
- ②運転を停止しても、電源プラグを抜かずに再び運転する場合、停止前の運転モードで運転します。但し、タイマー運転の設定は解除されます。
- ③電源プラグを抜くと全ての記憶は解除され、初期設定となるため、あらためて各運転モードを設定してください。

○お願い

運転終了後もしばらくは蒸気が出ますので、吹出口にさわったり、顔などを近付けないでください。やけどをすることがあります。

お手入れのしかた

⚠ 警告

お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜くこと。
また、ぬれた手で抜き差ししないこと。



プラグを抜く



感電やけがをすることがあります。

お手入れに塩素系洗剤、酸性洗剤は使わないこと。



禁止



有毒ガスが発生する原因となります。

使用中や使用直後は、お手入れをしないこと。運転停止後、約30分たってからお手入れしてください。



禁止

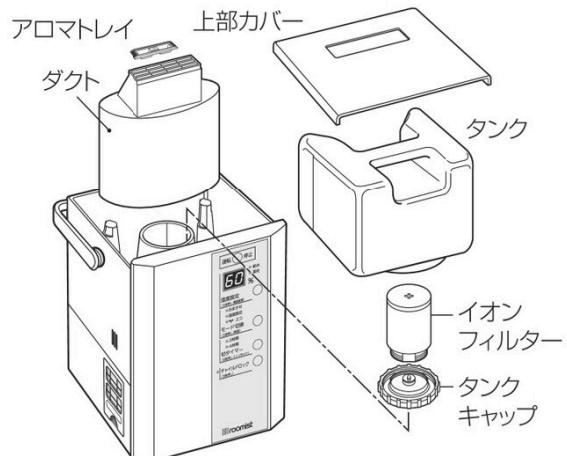
高温部に触れ、やけどの原因になります。

◎加湿器のご使用に伴い、蒸気発生部分にスケールが堆積してきます。スケール発生量が多い場合は早めにお手入れしてください。

◎加湿器の「運転時間」および「水道水の水質」によりお手入れの頻度は異なりますが、現在湿度表示部にお掃除サイン「CL」表示が出たら、次のお手入れを行ってください。終わりましたら、切タイマーボタンを3秒以上押してお掃除サイン「CL」表示を消してください。(自動的には消えません)

①お手入れを始める前に

- (1)運転／停止ボタンを押して「停止」してください。
- (2)電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (3)停止後しばらくは内部が高温になっていますので約30分たってからお手入れしてください。
- (4)右図のように各部を取りはずしてください。



②本体のお手入れ

- (1)濡れた雑巾などで汚れを拭き取ってください。
- (2)汚れがひどい場合は中性洗剤溶液に浸した雑巾を固くしぼって拭き取り、その後はよくからぶきをしてください。

○お願い

変質・変色防止のためにベンジンやシンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。

③タンクのお手入れ

- (1)汚れがひどい場合は、タンクに水を少量いれ、キャップを締めて振り洗いをし、排水してください。
- (2)右図のようにキャップのバルブ位置を確認してください。
- (3)イオンフィルターの効果がなくなった場合、新しいイオンフィルターと交換してください。
- (4)内部をきれいに拭いてください。



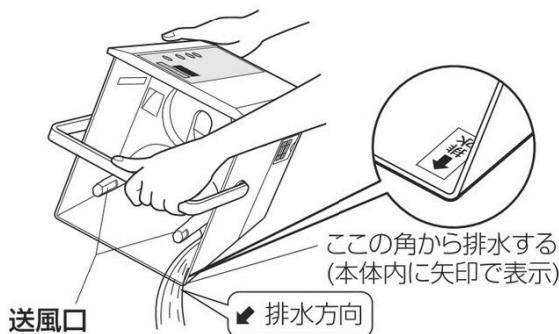
! お願い

- ①タンクに水を入れたまま放置しますと運転したとき臭いが出る場合があります。
- ②1週間以上ご使用にならない場合は、タンクの水を排水してください。
- ③タンクのお手入れの時、バルブがずれていないか確認してください。
給水が止まる原因になります。

④本体内部のお手入れ

- (1)水槽内の水を捨ててください。

下図のように送風口に水が入らないように、ゆっくり注意しながら排水してください。



! 警告

排水するときは、必ず排水方向から排水してください。 水槽内を洗うための水を追加しないでください。

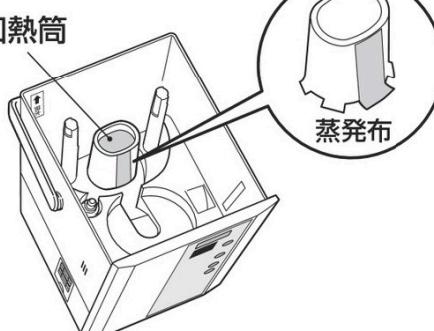
排水方向を誤ると、支柱部の送風口から水が内部に入り、火災・感電・ショートの原因になります。

 加湿器内部に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。

- (2)蒸発布の取りはずし

- ①両手で蒸発布を押し広げ加熱筒との隙間を作ります。
- ②蒸発布の上部を両手で持って上側に引き出します。

加熱筒



! お願い

蒸発布が乾いているときやはずしにくい場合は、蒸発布に水を含ませてから取りはずしてください。

- (3)水槽内および加熱筒についた汚れを濡れた雑巾などで拭いてください。

加熱筒に付着しているスケールが乾燥しているときは、水を十分に含ませてから拭いてください。

加熱筒にスケールがこびり付いた場合は、弊社ホームページの「加熱筒にスケールがこびり付いた場合のお手入れ方法」をご覧いただくなされ、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

(弊社ホームページ⇒お問い合わせ・サポート⇒家庭用製品⇒加湿器のお手入れについて⇒スチーム蒸発式加湿器)





スケールのこびりつき

!お願い

- ①スケールを除去しにくい場合は歯ブラシなどで水洗いをして、スケールを洗い落としてください。
②加熱筒の表面にはフッ素コーティングが施してありますので、研磨剤・金属タワシなど固いものでこすらないでください。
加熱筒に傷がつき、故障の原因になります。

(4) フロートの回りが汚れていれば汚れをとってください。



!お願い

- フロートは取りはずさないでください。
(フロートには上下方向があり、方向をまちがえますと誤動作の原因となります。
3本の突起側が下面になります。)

(5) 取りはずした蒸発布を水で「もみ洗い」してください。

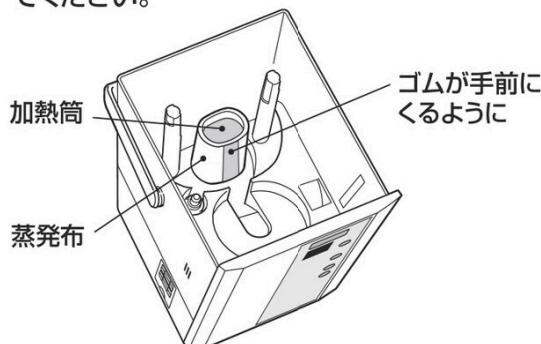
- ①蒸発布は水で「もみ洗い」する事により繰り返しご使用になれます、やがて洗っても染み込んだスケールが取れなくなります。
②蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴムが伸びた場合は、蒸発布を新しいものに交換してください。
(15)ページをご覧ください)

△注意

蒸発布を「もみ洗い」する際に、硬くなったスケールでケガをしないようご注意ください。

(6) 蒸発布の取り付け

- ①蒸発布を加熱筒にかぶせ、蒸発布を両手で左右前後に広げながら、ゴムが正面(手前)にくるように押し込んでください。
②蒸発布下端部が全て水槽底面に当たるまで押し込んでください。

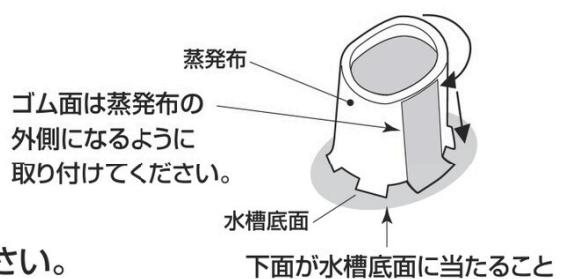


(7) ダクトを水洗いしてください。

(8) タンク・ダクト・上部カバーを取り付けてください。

お知らせ

- ①蒸発布は濡らさせた状態で押し込むと入りやすくなります。
②蒸発布は正しく取り付けてください。
1)押し込みが少ないと水の吸い上げが悪くなり、運転が停止することがあります。
2)蒸発布の一部が折れ曲がったり、傾いたりすると、水槽内の水温が上昇することがあります。

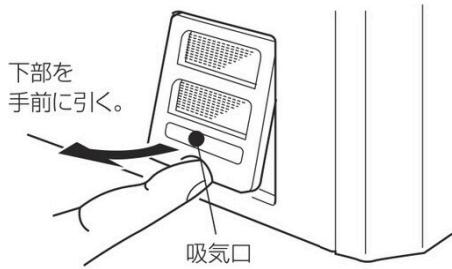


吸気口のお手入れ

！お願い

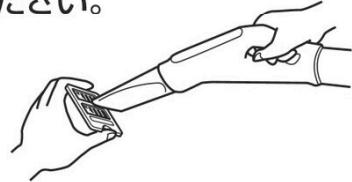
お掃除サイン「CL」が表示されたら、吸気口とBIOフィルターを掃除してください。
(汚れがひどくになりますと蒸気の出が弱くなり、また正しい温度や湿度を検知しにくくなります)

(1) 吸気口を本体側面からはずしてください。



(2) 掃除機で吸気口とBIOフィルターのほこりを吸い取ってください。

※ BIOフィルターは水洗いしないでください。



BIOフィルターの汚れがひどく、取れにくい場合および破損したときは交換してください。使用後は不燃物として廃棄してください。

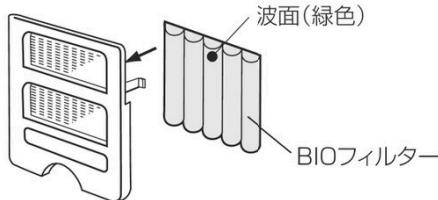
- ・交換用BIOフィルター お買い上げの「販売店」にてお買い求めください。

| | | | |
|----|------------|--------|----------|
| 名称 | BIOフィルター | 枚 数 | 1枚 |
| 品番 | SHT437A001 | 希望小売価格 | 440円(税込) |



(3) 吸気口を本体に取り付けてください。

- ・BIOフィルターの波面をケースの内側に入れてください。



(4) お手入れが終わったら、切タイマーボタン(CLリセット)を3秒以上押してお掃除サイン「CL」表示を消してください。

蒸発布の交換

(1) 交換時期

- ①蒸発布は消耗品です。蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴムが伸びた場合は、蒸発布を新しいものに交換してください。
- ②蒸発布の交換の目安は、運転時間500~600時間です。
(1日8~10時間運転で約2ヶ月)

※この目安の時間は、水質の違いによるスケールの発生量により変わります。

(蒸発布のお買い求め方法…[6ページ])

※使用済みの蒸発布は、不燃物として廃棄してください。

！お願い

新しい蒸発布に交換後、運転を再開する場合は、タンクをセットしてから約10分後に運転ボタンを押してください。

(2) 蒸発布の交換方法

- ・蒸発布の取りはずし、取り付け手順については、⑬、⑭ページの(2)、(6)項をご覧ください。

お知らせ

蒸発布がコゲ茶色で焼きついたようになっている場合は、水分中の鉄分(スケール)が多く吸着されたものであり、焼けたものではありません。

保管のしかた

(1)お手入れをした後に、内部に水が残っていないか確認の上、使用した蒸発布およびイオンフィルターを取りはずしてください。

(2)水を拭き取り、自然乾燥させてください。

(3)お買い上げ時の包装ケースに入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに付属の電源コードと一緒に保管してください。

！お願い

- ・使用した蒸発布は必ず取りはずし、乾燥させた上で保管してください。

※使用した蒸発布を付けたまま保管しますと、加熱筒にスケールがこびりつき、故障の原因になる場合があります。



仕様

| 形 式 | | SHE35VD |
|--------------------|-------------------|--|
| 電 源 | | 単相100V 50/60Hz共用 |
| 加 湿 量 (連続運転時) | | 350mL/h |
| 消 費 電 力 (最 大) | | 250W(2.5A) |
| タ ン ク 容 量 | | 約2.8L(運転時間約8時間以上) |
| 適 用 床面積 (目安) | 木 造 和 室 | 10m ² (6畳) |
| | プレハブ・ コンクリート洋室 | 16m ² (10畳) |
| 外 形 尺 法 (高さ×幅×奥行) | | 245×220×267mm(ハンドルを倒した状態) |
| 質 量 | | 約3.0kg(満水時約6.0kg) |
| 電 源 コ ー ド | | 125V 7A マグネットプラグ式2m(市販品も使えます) |
| 安 全 装 置 | フロートスイッチ | 水槽の水位が規定値より下がると作動して、加湿を停止します。 (給水ランプ点滅) |
| | 温 度 セン サ ー | フロートスイッチが作動しない場合、蒸発布の取り付け忘れの場合など、加熱筒の温度が異常に上昇したときに感知して停止します。 |
| | 温 度 ヒ ュ ー ズ | 温度センサーが作動しない場合は、このヒューズが溶断して全停止します。(自動復帰はしません) |

故障かな?と思ったときは

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください

| 症 状 | 確認してください | 処 置 |
|-----------------------|--|--|
| 運転しない (表示が点灯しない) | マグネットプラグがはずれていませんか。 停電またはブレーカーが落ちていませんか。 給水ランプが点灯していませんか。 | プラグを接続してください。 復帰を待つ。ブレーカーを入れる。 タンクに水を補給してください。 |
| 給水ランプが消えない | フロートの周囲がスケールや ホコリなどで汚れていませんか。 タンクキャップのバルブがずれていませんか。 イオンフィルタが目詰まりしていませんか。 | スケールなどを取り除いてください。 フロートが上下に動くか確認してください。 ⑬ページの3の(2)項を確認してください。 イオンフィルタを外してシャカシャカ 音がするまで振ってください。 |
| お手入れしたのに 「CL」が消えない | —— | タイマーボタン(CLリセット)を3秒以上 押すと消えます。 |
| 蒸気が出ない (表示は点灯) | 運転を始めた直後ではありませんか。 お部屋の湿度が設定湿度より 高くなっていますか。 | 蒸気が出るまで1~3分かかります。 お部屋の湿度が高いため加湿を 停止しています。 |
| 蒸気の出が少ない | お部屋の湿度と温度の条件により、 蒸気が見えにくい場合があります。 「お部屋の湿度が設定湿度と同じ位」 または「工コ運転」になっていませんか。 蒸発布にスケールがたまっていますか。 吸気口にほこりがたまっていますか。 加熱筒の表面に凹凸などの異常が ありますか。 | タンクの水が減っていれば 故障ではありません。 加湿能力を抑えた運転を行っています ので故障ではありません。 蒸発布を洗ってください。 または蒸発布を交換してください。 吸気口のほこりを取ってください。 加熱筒の部品交換が必要です。 修理をご依頼ください。 |
| E1、E2表示 (運転が停止する) | —— | 安全装置(温度センサ)の故障です。 修理をご依頼ください。 |
| E3表示 (運転が停止する) | 蒸発布が正しく取り付けていますか。 蒸発布を交換したばかりですか。 古い蒸発布を使用していますか。 (蒸発布がスケールで硬くなったり、ゴム が伸びたりしていませんか) | 蒸発布を正しく取り付け、十分に給水さ せてください。(⑭ページの(6)項をご覧 ください。) 蒸発布を交換後タンクをセットして10分 以上経過後に運転を開始してください。 新しい蒸発布に交換してください。 |
| E4表示 (運転が停止する) | —— | 湿度センサーの故障です。 修理をご依頼ください。 |
| お知らせ音が鳴らない | お知らせ消音の設定になっていますか。 | お知らせ消音の設定を解除してください。 |
| 加湿しても湿度が 上がらない | お部屋の入り口や窓が開いていませんか。 設定湿度が低く設定されていますか。 | 開いているところを閉めてください。 設定湿度を変更してください。 |
| 湿度表示が 上がりすぎる | 初めてのご使用ですか。 | 使い始めは内部が冷えているため高湿度 表示することがあります、やがて下 がります。 |
| 停止してもファンが回っている | 運転を停止したばかりではありませんか。 | ファンは5分後に止まります。 |
| 蒸気が臭う | 加湿器内部が汚れていますか。 | お手入れしてください。 |
| ボタン操作ができない | チャイルドロックになっていますか。 | ロックを解除してください。 |

このようなときは販売店へ

- 電源プラグやコードの被覆が損傷しているとき。
 - 電源プラグやコードが異常に熱いとき。
 - 運転中に異常音が出るとき。
 - 電源プラグを抜き、3分以上たってから再運転しても運転動作に異常があるとき。
 - 「修理を依頼される前に、次のことをお確かめください」を見ても改善しないとき。
- ⇒ご使用を中止し、
お買い上げの
販売店に
ご連絡ください。

保証とアフターサービス

| | |
|--------------|--|
| 保証書 | <ul style="list-style-type: none"> ●保証書は「裏表紙」に付いています。 ●保証書は、「お買い上げ日」と「販売店名」の記入を必ずお確かめの上、販売店からお受け取りください。 ●内容をよくお読みになった上で、大切に保管してください。 |
| 修理を依頼されるときは | <ul style="list-style-type: none"> ●「故障かな?と思ったときは」をご覧になった上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。 【ご連絡いただきたいこと】 ①製品形式 ②製造番号 ③お買い上げ日 ④故障の内容 ⑤ご住所・お名前・電話番号 ●保証期間中の修理 ・保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理いたします。 ●保証期間経過後の修理 ・修理により加湿器の機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| 補修用性能部品の保有期間 | <ul style="list-style-type: none"> ●当社は、この加湿器の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。補修用性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。 |

お客様ご相談窓口のご案内

- 蒸発布やイオンフィルターのご注文、修理のご依頼などのご相談は、まずお買い上げの販売店までお問い合わせください。
- お買い上げの販売店にご相談できない場合、蒸発布などのご注文や修理のご依頼は「修理受付窓口」へどうぞ。

お客様ご相談窓口

イオンフィルターや蒸発布などのご注文、修理のご依頼、
お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず

お買い上げの販売店へ

◇お買い上げの販売店にご相談できない場合：イオンフィルターなどのご注文、修理のご依頼、技術相談は「修理受付窓口」へ

| | | | | | |
|---------------------|---------------------|------------|-----------|--------|--------------------|
| 修理受付窓口 | フリーコール | キュウ ナ ゴヨウモ | 365ニチタイオウ | 受付時間 | 平日(月～金) 9:00～18:00 |
| サービスフロントセンター | 0120-975-365 | | | 土・日・祝日 | 9:00～17:00 |
| 携帯電話・PHSからもご利用できます。 | | | | | |

24時間web受付 https://ssl.mhiair.co.jp/app/contact/?form_number=3 へどうぞ。

◇ホームページ <http://www.mhiair.co.jp> または

